

平成 18 年 3 月 29 日

## 2005（平成 17）年度「大学評価」の結果について

財団法人 大 学 基 準 協 会  
会 長 白 井 克 彦

### 1 大学基準協会の概要

財団法人大学基準協会は、1947（昭和 22）年、当時の国・公・私立の 46 の 4 年制大学を発起校として、アメリカのアクレディテーション団体をモデルに設立された自立的な大学連合組織です。

以来本協会は、4 年制大学を対象とする「第三者評価機関」として、その半世紀を越える歴史の中で、設立の趣旨に従い「会員の自主的努力と相互的援助によってわが国における大学の質的向上を図る」ことに努めてきました。すなわち、1951（昭和 26）年からは、本協会への加盟を希望する大学の正会員としての適格性を判定する「適格判定制度」を約 45 年間にわたり運用してきました。続いて 1996（平成 8）年からは、各大学が実施する自己点検・評価を基礎として、新たな大学評価（正会員になるための加盟判定審査と、正会員に対し定期的実施する相互評価）を実施してきました。その後も評価項目を随時見直すなど大学の質の向上ならびに質の保証についてさらなる充実を図り、大学の支援に努めてきました。このような活動が多く大学の受け入れられた結果、2005（平成 17）年 4 月の時点で、国・公・私立合わせて 317 大学の正会員に支えられる団体となりました。

さらに、2004（平成 16）年の認証評価の制度化に際して、本協会は 2004（平成 16）年 8 月 31 日付けで、わが国最初の機関別認証評価機関として文部科学省から認証を受けました。

このように、本協会はこれまでの長年にわたる評価活動の実績を有するとともに法的にも認証評価機関として位置づけられることとなりましたが、これまで同様、今後とも組織としての自立性を維持し、各大学の質的向上を支援する立場を堅持していきたいと考えています。

### 2 大学基準協会の大学評価の目的

すでに触れましたように、本協会の大学評価は、「会員の自主的努力と相互的援助によって、わが国における大学の質的向上を図る」（財団法人 大学基準協会寄附行為第 3 条）ことを目的として行われます。より具体的には、

- ① 本協会が定める大学基準に基づき、正会員としての適格性を備えていることをもって、社会に対しその質を保証する

② 評価結果の提示とその後の改善報告書の提出とその検討というアフターケアを通じて、当該大学に設置される学部・研究科等を含む大学全体の改善を支援するという目的のもと行っています。

特に、社会に対して保証する「大学の質」については、当該大学が自身の掲げる使命や目的の達成に向けた活動を行っていること、自己点検・評価活動を改善へと結びつけ、自己改善を進めていくシステムを持っていること、の2点を重視しています。

### 3 大学評価の種類

前述のとおり本協会の大学評価には、正会員ではない大学が新たに本協会の正会員大学になろうとする際に受ける「加盟判定審査」と、すでに正会員になった大学が7年ごとに定期的に受ける「相互評価」の2種類があります（ただし、正会員になって初回に受ける相互評価は5年後です）。

本協会が「認証評価機関」として文部科学大臣の認証を受けたことにより、「加盟判定審査」、「相互評価」ともに、これを受けた大学は、当該大学が希望すれば学校教育法第69条の3第2項に基づく「認証評価」を受ける義務を果たしたことになります。

## 4 2005（平成17）年度 大学評価ならびに認証評価への申請大学

### ① 加盟判定審査ならびに認証評価申請大学

（大学名五十音順）

(公立) 秋 田 県 立 大 学  
(公立) 石 川 県 立 看 護 大 学  
(公立) 岐 阜 県 立 看 護 大 学  
(私立) 共 愛 学 園 前 橋 国 際 大 学  
(私立) 京 都 文 教 大 学  
(私立) 高 知 工 科 大 学  
(公立) 島 根 県 立 大 学  
(公立) 下 関 市 立 大 学  
(私立) 名 古 屋 芸 術 大 学  
(私立) 明 星 大 学  
(私立) ル ー テ ル 学 院 大 学

### ② 相互評価ならびに認証評価申請大学

（大学名五十音順）

(私立) 亜 細 亜 大 学  
(私立) 大 阪 産 業 大 学  
(私立) 関 西 外 国 語 大 学

(私立)	九	州	産	業	大	学
(私立)	慶	應	義	塾	大	学
(私立)	駒	沢	女	子	大	学
(私立)	東	京	経	済	大	学
(私立)	東	京	農	業	大	学
(私立)	東	邦		大		学
(私立)	日	本	女	子	大	学
(私立)	阪	南		大		学
(私立)	福	岡	工	業	大	学
(国立)	宮	城	教	育	大	学
(私立)	和		光		大	学

## 5 大学評価の組織体制

2005（平成17）年度の大学評価においては、上記申請大学に対応して次のような組織体制を整え、具体的な審査・評価活動を行いました。

「加盟判定審査」の中心となる判定委員会（委員24名）の下には、10の大学審査分科会、1の全学審査分科会、5の専門審査分科会を設置し、延べ63名の委員と1名の特別大学評価員が審査にあたりました。

「相互評価」の中心となる相互評価委員会（委員24名、幹事6名）の下には、4の大学評価分科会、10の全学評価分科会、42の専門評価分科会を設置し、延べ196名の委員と6名の幹事、1名の特別大学評価員が評価にあたりました。判定委員会委員、相互評価委員会委員は、ともに本協会正会員校から推薦された候補者の中から、正会員の選挙によって選出された者、理事会の推薦による者、外部有識者から構成されています。相互評価委員会幹事は、同委員会の正副委員長の推薦やこれまでの幹事経験者から選出しており、全学分科会の運営を補佐するとともに、審査・評価結果の原案を作成する役割を担っています。特別大学評価員は、本協会理事・監事からの推薦に基づき選出しており、幹事の役割に加えて事務局が行うような実務的役割も担っています。

また、大学財政評価分科会（主査・委員あわせて8名）を設置し、大学財政評価の指標や方法の検討を行うとともに、分科会の下部に加盟判定審査、相互評価の別なく7つの部会を設け、そこで評価された内容の調整を行いました。具体的には国・公立大学については、申請6大学に対して国・公立大学部会（メンバーは主査・委員あわせて6名）を設置し、評価を行い、私立大学については、申請19大学を6グループに分け、それぞれ設置する学部の種類に対応して私立大学部会（大学財政評価分科会委員の中から主査を選任。メンバーは主査・委員あわせて18名）を設置し、分担して評価を行いました。

したがって、2005（平成17）年度の大学評価は、延べ339名の委員と6名の幹事、1

名の特別大学評価員（特別大学評価員は加盟判定審査、相互評価とで重複）がかかわって行ったこととなります（大学評価の組織体制については【資料1】、各委員会ならびに分科会、部会等の名簿については、【資料2】参照）。

## 6 大学評価の経過

### (1) 書面による評価

上記分科会にかかわる委員は、評価者研修セミナーに参加した後、申請大学から提出された資料をもとに自らの評価所見をまとめ、それぞれの分科会に臨みました。各分科会では、各委員の評価所見をもとに各主査が作成した分科会報告書（原案）をたたき台として書面による評価を行い、その結果を主査が分科会報告書（案）として取りまとめました。

### (2) 加盟判定審査・相互評価における実地視察の実施

加盟判定審査ならびに相互評価においては、各分科会における評価終了後に、加盟判定審査申請のあった11大学、相互評価申請のあった14大学のすべてに対して実地視察を実施しました。

実地視察の目的は評価の正確さを期すことにあります。書面評価の過程で発生した疑問点に関する質疑応答を行うとともに、書面のみでは把握の難しかった施設・設備の状況などを実際に確認しました。また、各分科会の分科会報告書（案）をあらかじめ当該大学に提示し、実地視察の際に同案の記載内容についての確認の機会を設けました。あわせて学生インタビューや授業参観も行いました。これらにより実地視察の実効性を高めることに努めました。

### (3) 判定委員会・相互評価委員会における審査・評価結果（案）の作成

実地視察等の結果を反映させうえて提出された各分科会の分科会報告書をもとに、判定委員会・相互評価委員会はそれぞれ委員会としての審査・評価結果（案）を作成しました。その後、審査・評価結果（案）を当該大学に送付しました。

審査・評価結果（案）を受け取った大学は、同案に事実誤認等があった場合に審査・評価結果（案）に対して「意見申立」を行うことができます。今年度は、加盟判定審査申請11大学中10大学、相互評価申請14大学中12大学から意見申立書が提出されました。判定委員会・相互評価委員会では、申請大学から提出された資料を中心に事実誤認の有無と意見申立の適否を審議し、審査・評価結果（案）に対して必要な修正を行いました。

## 7 大学評価結果の概要

意見申立の手続きにより必要な修正を行った審査・評価結果（案）については、2006（平成18）年2月22日開催の理事会への報告の後、3月29日の第95回評議員会と臨時理事会に諮りました。

その結果、2005（平成 17）年度に加盟判定審査を申請した 11 大学すべての加盟・登録を承認するとともに、相互評価を申請した 14 大学すべての大学について認定を行い、第 10 回の大学評価が終了しました。同時に、認証評価を申請していた 25 大学については、認証評価を受ける義務を果たしたことになります。

これを受けて、2006（平成 18）年 4 月からの正会員大学数は 323 大学となるはこびであり、わが国の全 4 年制大学数の約 45%を占めることになります。また、自己点検・評価を組み入れた 1996（平成 8）年度以降の 10 年間の大学評価実績としては、加盟判定審査を受けて正会員になった大学が 143、相互評価認定大学が 165（延べ）にのぼり、正会員（323 大学）の大多数が大学評価を受けたことになります（いずれも 2006（平成 18）年 4 月 1 日現在）。

2005（平成 17）年度に大学評価（加盟判定審査および相互評価）を受けた大学の審査・評価結果の詳細内容については、別添の「各申請大学に対する審査・評価結果」をご参照ください。

#### (1) 加盟判定審査について

2005（平成 17）年度に加盟判定審査ならびに認証評価を申請した 11 大学については大学基準に適合しているものとして正会員への加盟・登録を認めることとしました。

#### 1) 加盟判定審査ならびに認証評価の結果、大学基準への適合認定を行い、正会員への加盟・登録を認めた大学

（大学名五十音順）

(公立) 秋 田 県 立 大 学  
(公立) 石 川 県 立 看 護 大 学  
(公立) 岐 阜 県 立 看 護 大 学  
(私立) 共 愛 学 園 前 橋 国 際 大 学  
(私立) 京 都 文 教 大 学  
(私立) 高 知 工 科 大 学  
(公立) 島 根 県 立 大 学  
(公立) 下 関 市 立 大 学  
(私立) 名 古 屋 芸 術 大 学  
(私立) 明 星 大 学  
(私立) ル ー テ ル 学 院 大 学

#### 2) 正会員に加盟・登録を認めた大学に対する提言

以上の 11 大学には、それぞれの一層の改善充実のため、大学基準協会として「長所として特記すべき事項」、「勧告」、「助言」等の提言を付すこととしました。「長所とし

て特記すべき事項」は、当該大学の特色ある優れた取り組みをさらに伸張していただくために示した事項です。ただし、その取り組みがいかに優れたものであっても、一部の教員のみによる事例や、制度の設置・仕組みの整備だけで成果が確認できない場合については基本的に指摘から除外しています。

「勧告」は正会員大学にふさわしい要件を充たしていない、もしくは改善への取り組みが十分ではないという事項に対し、義務的に改善をもとめたものです。当該大学は、「勧告」事項に誠実に対応し、早急にこれを是正する措置を講じるとともにその結果を改善報告書として取りまとめ、原則として2010（平成22）年度に予定される次回の相互評価申請時に提出することになります。

一方、「助言」は、正会員大学にふさわしい要件は充たしているものの、理念・目的・教育目標の達成に向けた一層の改善努力を促すために提示するものです。「助言」については、次回相互評価申請時に改善報告がもとめられるものの、それらにどのように対応するかは各大学の判断に委ねられています。この点で「勧告」と「助言」の性格は異なっています。

なお、2005（平成17）年度加盟判定審査において、「長所として特記すべき事項」を付した大学は11大学、「勧告」を付した大学は2大学、「助言」を付した大学は11大学です。各指摘は、それぞれの大学からの申請資料に基づく書面評価や実地視察に加え、前述の「意見申立」手続き等による当該大学からの意見を参考に、可能なかぎり最新の実態に即した指摘となるよう留意しました。

## (2) 相互評価について

2005（平成17）年度に相互評価ならびに認証評価を申請した14大学はすべてが大学基準に適合しているものとして認定しました。

### 1) 相互評価ならびに認証評価の結果、大学基準への適合認定を行った大学

（大学名五十音順）

(私立) 亜 細 亜 大 学  
(私立) 大 阪 産 業 大 学  
(私立) 関 西 外 国 語 大 学  
(私立) 九 州 産 業 大 学  
(私立) 慶 應 義 塾 大 学  
(私立) 駒 沢 女 子 大 学  
(私立) 東 京 経 済 大 学  
(私立) 東 京 農 業 大 学  
(私立) 東 邦 大 学  
(私立) 日 本 女 子 大 学

(私立) 阪 南 大 学  
(私立) 福 岡 工 業 大 学  
(国立) 宮 城 教 育 大 学  
(私立) 和 光 大 学

## 2) 大学基準への適合認定を行った大学に対する提言

以上の14大学には、それぞれの一層の改善充実のため、大学基準協会として「長所として特記すべき事項」、「勧告」、「助言」等の提言を付すこととしました。「長所として特記すべき事項」を付した大学は14大学、「勧告」を付した大学は8大学、「助言」を付した大学は14大学となりました。各指摘は、それぞれの大学からの申請資料に基づく書面評価や実地視察の結果、導き出したものであり、必ずしも各大学の最新の動向を完全に踏まえたものではありませんが、前述の「意見申立」手続き等による当該大学からの意見を参考に、可能なかぎり実体に即した指摘となるよう留意しました。

「勧告」や「助言」を付された大学は、それぞれの指摘にかかわる改善状況について、改善報告書を取りまとめ、原則として2009（平成21）年7月末までに、これを大学基準協会宛に提出することになります。

## 8 改善報告書、完成報告書について

前述のとおり、大学基準協会では、加盟判定審査を受け正会員への加盟が承認された大学や、相互評価の結果、大学基準に適合している旨の認定を受けた大学に対して、必要に応じて「長所として特記すべき事項」、「勧告」、「助言」を付しています。「勧告」を付された大学は、これに誠実に対応し、早急に改善措置を講じる必要があります。また、「助言」を付された大学は、問題点として指摘された事項について十分に検討し、一層の改善に努める必要があります。

「勧告」もしくは「助言」が付された大学は、それらの事項について大学基準協会が指定する期日までに改善報告書を提出することになっています。この「改善報告書」の制度は、本協会の大学評価の特色のひとつであり、大学評価を一過性のものに終わらせず、新たな改革へとつなげるための重要なシステムです。

2005（平成17）年度加盟判定審査において「勧告」を付した2大学、「助言」を付した11大学は、2010（平成22）年度に予定される次回相互評価にあわせて、同じく相互評価において「勧告」を付した8大学、「助言」を付した14大学については、2009（平成21）年7月末までに、それぞれ改善報告書を本協会宛に提出することになります。

なお、2005（平成17）年度の加盟判定審査、相互評価にあたり、調書作成年度（2004（平成16）年度）に、申請資格充足年度（完成年度に達しさらに1年を経過した年度）に達していなかった学部・研究科については、当該学部・研究科が完成年度に達した時点での状況を、次回の「改善報告書」提出時に、「完成報告書」として提出することになります。

## 9 大学基準協会の評価の充実に向けて

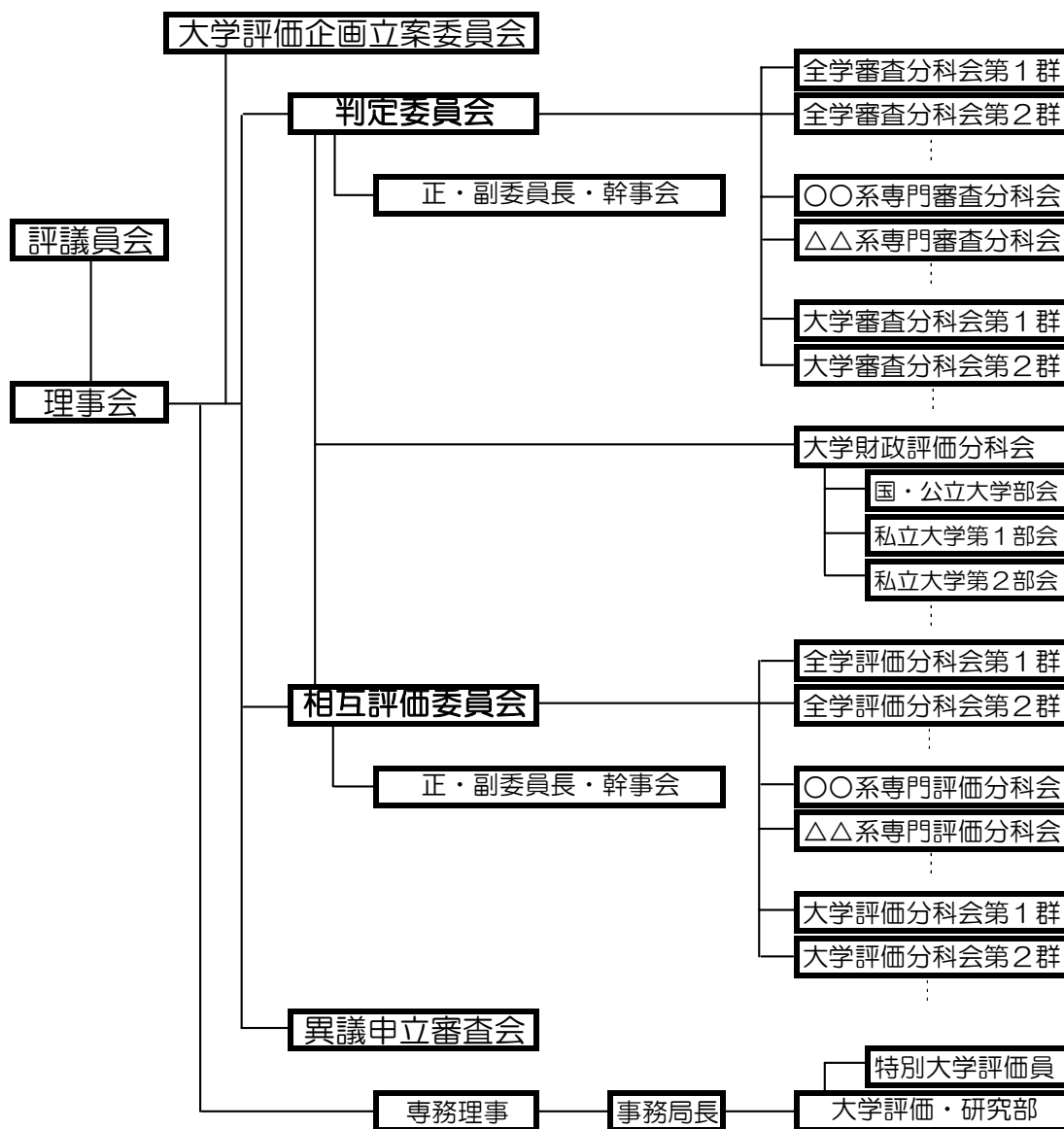
多角的な大学評価システムが誕生しつつある中、2004（平成16）年度より認証評価制度が開始されたことも踏まえ、現在、大学基準協会は、これまで培ってきた実績をもとに、透明性・公正性の高い「第三者評価機関」として中心的な役割を果たすべく、大学評価システムの改善・充実に取り組んでいます。例えば、評価基準の体系化、書面評価の方法や実地視察の充実をはじめとする評価プロセスの改善など、さまざまな検討を重ねてきています。

このように、大学基準協会は、社会の期待に応える大学評価を発展させる努力を行ってまいります。何とぞ今後ともご支援いただきますようお願いいたします。



資 料 編

大学評価組織体制図



【資料2】

平成17年度 大学評価関連委員会等 名簿

(平成18年3月29日現在)

平成17年度 判定委員会 名簿

役名	氏名	所属名
委員長	大西有三	京都大学
副委員長	鈴木典比古	国際基督教大学
委員	明石要一	千葉大学
委員	井田良克	東京都立武蔵高等学校
委員	加藤春恵子	東京女子大学
委員	北村敬子	中央大学
委員	工藤教和	慶應義塾大学
委員	厚東洋輔	大阪大学
委員	佐伯浩	北海道大学
委員	佐々木嬉代三	立命館大学
委員	佐藤東洋士	桜美林大学
委員	佐野慶子	佐野公認会計士事務所
委員	柴忠義	北里大学
委員	柴田悟一	横浜市立大学
委員	鈴木英一	筑波大学
委員	中津井泉	株式会社リクルート
委員	長島重夫	日立製作所総合教育センター 技術研修所
委員	堀口健治	早稲田大学
委員	丸山知子	札幌医科大学
委員	武藤元昭	青山学院大学
委員	山中祥男	上智大学
委員	吉里勝利	広島大学
委員	若尾祐司	名古屋大学
委員	渡辺慎介	横浜国立大学
特別大学 評価委員	長谷川明	大学基準協会

平成17年度 判定委員会 大学審査分科会 名簿

第 1 群

役名	氏 名	大 学 名
主査	吉 里 勝 利	広 島 大 学
委員	花 岡 和 則	北 里 大 学
委員	濱 裕 光	大 阪 市 立 大 学
委員	早 川 誠 而	山 口 大 学
委員	藤 井 透	同 志 社 大 学

第 2 群

役名	氏 名	大 学 名
主査	柴 忠 義	北 里 大 学
委員	太 田 喜 久 子	慶 應 義 塾 大 学
委員	小 松 美 穂 子	茨 城 県 立 医 療 大 学
委員	菱 沼 典 子	聖 路 加 看 護 大 学

第 3 群

役名	氏 名	大 学 名
主査	丸 山 知 子	札 幌 医 科 大 学
委員	高 橋 眞 理	北 里 大 学
委員	武 井 麻 子	日 本 赤 十 字 看 護 大 学
委員	森 本 忠 興	徳 島 大 学

第 4 群

役名	氏 名	大 学 名
主査	加 藤 春 恵 子	東 京 女 子 大 学
委員	新 熊 清	名 古 屋 学 院 大 学
委員	八 田 武 志	名 古 屋 大 学
委員	堀 江 淳 之 助	大 阪 国 際 大 学

第 5 群

役名	氏 名	大 学 名
主査	厚 東 洋 輔	大 阪 大 学
委員	井 上 早 苗	東 京 女 子 大 学
委員	佐 藤 研 一	国 士 舘 大 学
委員	高 橋 憲 男	北 海 道 医 療 大 学
委員	福 吉 勝 男	名 古 屋 市 立 大 学

第 6 群

役名	氏 名	大 学 名
主査	佐 伯 浩	北 海 道 大 学
委員	近 藤 正 三	東 海 大 学
委員	辻 利 秀	北 陸 先 端 科 学 技 術 大 学 院 大 学
委員	林 光 一	青 山 学 院 大 学

第 7 群

役名	氏 名	大 学 名
主査	佐 藤 東 洋 士	桜 美 林 大 学
委員	会 田 一 雄	慶 應 義 塾 大 学
委員	栗 林 純 夫	東 京 国 際 大 学
委員	田 中 義 皓	京 都 産 業 大 学
委員	山 本 勇 次	大 阪 国 際 大 学

第 8 群

役名	氏 名	大 学 名
主査	工 藤 教 和	慶 應 義 塾 大 学
委員	浅 野 克 巳	駒 澤 大 学
委員	安 倍 惇	愛 媛 大 学
委員	神 立 孝 一	創 価 大 学

## 第 9 群

役名	氏 名	大 学 名
主査	鈴 木 英 一	筑 波 大 学
委員	小 林 陸 一 郎	京 都 精 華 大 学
委員	庄 野 進	国 立 音 楽 大 学
委員	錦 織 亮 介	北 九 州 市 立 大 学
委員	樋 口 隆 一	明 治 学 院 大 学

## 第 10 群

役名	氏 名	大 学 名
主査	山 中 祥 男	上 智 大 学
主査代行	大 野 博 之	福 岡 女 学 院 大 学
委員	川 廷 宗 之	大 妻 女 子 大 学
委員	神 田 健 次	関 西 学 院 大 学

## 平成17年度 判定委員会 全学審査分科会 名簿

## 第 1 群

役名	氏 名	大 学 名
主査	堀 口 健 治	早 稲 田 大 学
委員	久 保 猛 志	金 沢 工 業 大 学
委員	佐 々 木 嬉 代 三	立 命 館 大 学
委員	若 尾 祐 司	名 古 屋 大 学
特別大学 評議員	長 谷 川 明	大 学 基 準 協 会

平成17年度 判定委員会 専門審査分科会 名簿

1. 人文学系専門審査分科会

役名	氏名	大学名
主査	明石 要一	千葉大学
委員	角本 尚紀	神戸海星女子学院大学
委員	杉浦 廣治	元愛知県立大学

2. 文化学系専門審査分科会

役名	氏名	大学名
主査	武藤 元昭	青山学院大学
委員	櫻井 進	南山大学
委員	吉田 昌志	昭和女子大学

3. 経済学系専門審査分科会

役名	氏名	大学名
主査	柴田 悟一	横浜市立大学
委員	板谷 雄二	朝日大学
委員	伊代田 光彦	桃山学院大学

4. 情報学系専門審査分科会

役名	氏名	大学名
主査	苗村 憲司	元慶應義塾大学
委員	小宮 一三	神奈川工科大学
委員	中村 尚五	東京電機大学

5. 理工学系専門審査分科会

役名	氏名	大学名
主査	渡辺 慎介	横浜国立大学
委員	後藤 幸弘	東北学院大学
委員	瀬川 幸一	上智大学

平成17年度 相互評価委員会 名簿

役名	氏名	所属名
委員長	生和秀敏	広島大学
副委員長	納谷廣美	明治大学
委員	池尾茂	上智大学
委員	井上芳郎	北海道大学
委員	榎敏明	東京工業大学
委員	圓月勝博	同志社大学
委員	大澤慶子	大阪市立大学
委員	大輪武司	日本機械学会 工学教育センター
委員	奥田研爾	横浜市立大学
委員	柿原和夫	千葉大学
委員	角紀代恵	立教大学
委員	河上正二	東北大学
委員	子安増生	京都大学
委員	清水一彦	筑波大学
委員	杉本達夫	早稲田大学
委員	仙波憲一	青山学院大学
委員	西村太良	慶應義塾大学
委員	濱名優美	南山大学
委員	益田光治	九州大学
委員	松本香	松本香事務所
委員	村上健	津田塾大学
委員	山縣裕一郎	東洋経済新報社
委員	山本雄二	関西大学
委員	渡邊健治	東京都立豊島高等学校

役名	氏名	所属名
幹事	岩永誠	広島大学
幹事	川崎友嗣	関西大学
幹事	小西砂千夫	関西学院大学
幹事	千賀重義	横浜市立大学
幹事	豊田敬	法政大学
幹事	林義勝	明治大学
特別 評価 大学 員	長谷川明	大学基準協会

平成17年度 相互評価委員会 大学評価分科会 名簿

第 1 群

役名	氏 名	大 学 名
主査	大 澤 慶 子	大 阪 市 立 大 学
委員	石 原 昌 英	琉 球 大 学
委員	斎 藤 衛	南 山 大 学
委員	長 嶋 善 郎	学 習 院 大 学
委員	堀 川 徹	京 都 外 国 語 大 学

第 2 群

役名	氏 名	大 学 名
主査	濱 名 優 美	南 山 大 学
委員	宇 津 木 成 介	神 戸 大 学
委員	遠 藤 宏	元 成 蹊 大 学
委員	星 野 英 紀	大 正 大 学

第 3 群

役名	氏 名	大 学 名
主査	池 尾 茂	上 智 大 学
委員	井 手 口 哲 夫	愛 知 県 立 大 学
委員	海 老 原 大 樹	元 武 蔵 工 業 大 学
委員	岡 部 永 年	愛 媛 大 学
委員	鈴 木 正 夫	東 京 工 芸 大 学

第 4 群

役名	氏 名	大 学 名
主査	清 水 一 彦	筑 波 大 学
委員	荒 木 廣	元 聖 心 女 子 大 学
委員	杉 山 緑	山 口 大 学
委員	古 沢 常 雄	法 政 大 学

平成17年度 相互評価委員会 全学評価分科会 名簿

第 1 群

役名	氏 名	大 学 名
主査	河 上 正 二	東 北 大 学
委員	武 山 眞 行	中 央 大 学
委員	藤 井 耐	高 千 穂 大 学
委員	三 輪 俊 和	北 九 州 市 立 大 学
幹事	千 賀 重 義	横 浜 市 立 大 学

第 2 群

役名	氏 名	大 学 名
主査	益 田 光 治	九 州 大 学
委員	川 合 眞 一 郎	神 戸 女 学 院 大 学
委員	高 山 洋 一	大 東 文 化 大 学
委員	駄 田 井 正	久 留 米 大 学
幹事	豊 田 敬	法 政 大 学



## 第 3 群

役名	氏 名	大 学 名
主査	柿 原 和 夫	千 葉 大 学
委員	奥 川 義 尚	京 都 外 国 語 大 学
委員	長 友 隆 男	芝 浦 工 業 大 学
委員	長 野 ひ ろ 子	中 央 大 学
特別大学 評議員	長 谷 川 明	大 学 基 準 協 会

## 第 4 群

役名	氏 名	大 学 名
主査	子 安 増 生	京 都 大 学
委員	飯 島 紀 昭	成 蹊 大 学
委員	甲 斐 泰	大 阪 大 学
委員	杉 村 芳 美	甲 南 大 学
特別大学 評議員	長 谷 川 明	大 学 基 準 協 会

## 第 5 群

役名	氏 名	大 学 名
主査	角 紀 代 恵	立 教 大 学
委員	関 谷 登	東 北 学 院 大 学
委員	福 山 道 義	福 岡 大 学
委員	湯 沢 威	学 習 院 大 学
幹事	小 西 砂 千 夫	関 西 学 院 大 学

## 第 6 群

役名	氏 名	大 学 名
主査	木 場 洋 次 郎	愛 媛 大 学
委員	安 部 征 雄	筑 波 大 学
委員	藤 田 雄 二	長 崎 大 学
委員	米 山 勝 美	明 治 大 学
特別大学 評議員	長 谷 川 明	大 学 基 準 協 会

## 第 7 群

役名	氏 名	大 学 名
主査	井 上 芳 郎	北 海 道 大 学
委員	小 田 祺 景	兵 庫 県 立 大 学
委員	占 野 廣 司	福 岡 大 学
委員	宮 澤 正 顯	近 畿 大 学
特別大学 評議員	長 谷 川 明	大 学 基 準 協 会

## 第 8 群

役名	氏 名	大 学 名
主査	山 本 雄 二	関 西 大 学
委員	草 刈 英 榮	千 葉 大 学
委員	坂 本 元 子	和 洋 女 子 大 学
委員	山 口 和 範	立 教 大 学
幹事	林 義 勝	明 治 大 学

## 第 9 群

役名	氏 名	大 学 名
主査	仙 波 憲 一	青 山 学 院 大 学
委員	今 井 讓	関 西 学 院 大 学
委員	坂 本 辰 朗	創 価 大 学
委員	山 田 勝 裕	京 都 産 業 大 学
幹事	岩 永 誠	広 島 大 学

## 第 10 群

役名	氏 名	大 学 名
主査	西 村 太 良	慶 應 義 塾 大 学
委員	落 合 優	横 浜 国 立 大 学
委員	河 野 勝 彦	京 都 産 業 大 学
委員	望 月 正 光	関 東 学 院 大 学
幹事	川 崎 友 嗣	関 西 大 学

平成17年度 相互評価委員会 専門評価分科会 名簿

1. 表現学系専門評価分科会

役名	氏名	大学名
主査	杉本達夫	早稲田大学
委員	北川紀男	桃山学院大学
委員	上滝徹也	日本大学

2. 文学系第1専門評価分科会

役名	氏名	大学名
主査	圓月勝博	同志社大学
委員	佐々木一也	立教大学
委員	友田卓爾	広島大学
委員	那須 壽	早稲田大学

3. 文学系第2専門評価分科会

役名	氏名	大学名
主査	村上 健	津田塾大学
委員	糸井通浩	龍谷大学
委員	佐藤元英	中央大学

4. 外国語学系専門評価分科会

役名	氏名	大学名
主査	相良 憲昭	京都ノートルダム女子大学
委員	大江 篤志	東北学院大学
委員	塩崎 弘明	長崎純心大学

5. 国際コミュニケーション学系専門評価分科会

役名	氏名	大学名
主査	渡瀬 信之	東海大学
委員	戸所 隆	高崎経済大学
委員	中村 孝文	武蔵野大学

6. コミュニケーション学系専門評価分科会

役名	氏名	大学名
主査	岡部 朗一	南山大学
委員	梅本 裕	京都橘大学
委員	真鍋 一史	関西学院大学

7. 人間関係学系専門評価分科会

役名	氏名	大学名
主査	大堀 哲	常磐大学
委員	平松 闊	甲南大学
委員	南 徹弘	大阪大学

8. 人間社会学系専門評価分科会

役名	氏名	大学名
主査	里見 賢治	佛教大学
委員	佐藤 尚子	広島大学
委員	藤原 勝紀	京都大学

9. 国際関係学系専門評価分科会

役名	氏名	大学名
主査	田中 恭子	南山大学
委員	吾郷 健二	西南学院大学
委員	中條 直樹	名古屋学院大学

10. 法学系第1専門評価分科会

役名	氏名	大学名
主査	鯨越 溢弘	新潟大学
委員	青野 博之	駒澤大学
委員	山下 幸司	関東学院大学

## 11. 法学系第2専門評価分科会

役名	氏名	大学名
主査	柳原正治	九州大学
委員	伊藤宏之	福島大学
委員	上北武男	同志社大学

## 12. 現代法学系専門評価分科会

役名	氏名	大学名
主査	梅本吉彦	専修大学
委員	今井薫	京都産業大学
委員	土井政和	九州大学

## 13. 政策・メディア学系専門評価分科会

役名	氏名	大学名
主査	深井慈子	南山大学
委員	伊藤朋恭	大妻女子大学
委員	黒葛裕之	関西大学
委員	佐藤俊一	東洋大学
委員	松岡譲	京都大学
委員	宮本定明	筑波大学

## 14. 経済学系第1専門評価分科会

役名	氏名	大学名
主査	熊谷彰矩	青山学院大学
委員	北川勝彦	関西大学
委員	正木八郎	大阪市立大学

## 15. 経済学系第2専門評価分科会

役名	氏名	大学名
主査	油井雄二	成城大学
委員	岩田伸人	青山学院大学
委員	名城邦夫	名古屋学院大学

## 16. 経済学系第3専門評価分科会

役名	氏名	大学名
主査	松浦昭	兵庫県立大学
委員	川野辺裕幸	東海大学
委員	藤原碩宣	大東文化大学

## 17. 経済学系第4専門評価分科会

役名	氏名	大学名
主査	井上琢智	関西学院大学
委員	丸谷冷史	神戸大学
委員	吉田建夫	岡山大学

## 18. 経済学系第5専門評価分科会

役名	氏名	大学名
主査	伊部正之	福島大学
委員	浅野清	東洋大学
委員	福島久一	日本大学

## 19. 経済学系第6専門評価分科会

役名	氏名	大学名
主査	金子光男	明治大学
委員	梅垣邦胤	名城大学
委員	吹春俊隆	広島大学

## 20. 経済経営学系専門評価分科会

役名	氏名	大学名
主査	長谷部秀孝	創価大学
委員	松岡利道	龍谷大学
委員	北潟克輔	元金沢星陵大学

## 21. 経営学系第1専門評価分科会

役名	氏名	大学名
主査	吉原正彦	青森公立大学
委員	太田正博	福岡大学
委員	佐野正博	明治大学

## 22. 経営学系第2専門評価分科会

役名	氏名	大学名
主査	海老澤栄一	神奈川大学
委員	植田欣次	創価大学
委員	土方久	西南学院大学

## 23. 経営学系第3専門評価分科会

役名	氏名	大学名
主査	千葉洋	杏林大学
委員	小椋康宏	東洋大学
委員	加藤吉則	立正大学

## 24. 経営学系第4専門評価分科会

役名	氏名	大学名
主査	増田大三	近畿大学
委員	加来祥男	九州大学
委員	竹田英二	大阪大学

## 25. 経営管理学系専門評価分科会

役名	氏名	大学名
主査	高橋正泰	明治大学
委員	岡本博公	同志社大学
委員	高浦忠彦	立教大学

## 26. 経営情報学系専門評価分科会

役名	氏名	大学名
主査	井上一郎	京都産業大学
委員	原田昇	東京理科大学
委員	渡邊一衛	成蹊大学

## 27. 流通学系専門評価分科会

役名	氏名	大学名
主査	宮下國生	流通科学大学
委員	秋元浩一	名古屋学院大学
委員	澤喜司郎	山口大学

## 28. 商学系第1専門評価分科会

役名	氏名	大学名
主査	陶山計介	関西大学
委員	小沢健市	立教大学
委員	川本明人	広島修道大学

## 29. 商学系第2専門評価分科会

役名	氏名	大学名
主査	小林順治	上智大学
委員	田中隆雄	青山学院大学
委員	藤井秀樹	京都大学

## 30. 理学系第1専門評価分科会

役名	氏名	大学名
主査	真鍋勝司	横浜市立大学
委員	石田興太郎	東京理科大学
委員	増田芳男	新潟大学

## 31. 理学系第2専門評価分科会

役名	氏名	大学名
主査	山田隆己	甲南大学
委員	大春慎之助	中央大学
委員	長谷純宏	大阪大学

## 32. 理工学系専門評価分科会

役名	氏名	大学名
主査	榎敏明	東京工業大学
委員	稲田太郎	法政大学
委員	片山徹	同志社大学

## 33. 工学系第1専門評価分科会

役名	氏名	大学名
主査	野田松太郎	元愛媛大学
委員	角洋一	横浜国立大学
委員	宗宮功	龍谷大学

## 34. 工学系第2専門評価分科会

役名	氏名	大学名
主査	阪田憲次	岡山大学
委員	金田徹	関東学院大学
委員	佐藤一省	元東京理科大学

## 35. 農学系第1専門評価分科会

役名	氏名	大学名
主査	梶原忠彦	元山口大学
委員	安藤豊	山形大学
委員	坂井克己	元九州大学
委員	豊田勝	元新潟大学
委員	安田武司	神戸大学
委員	吉田俊幸	高崎経済大学

## 36. 農学系第2専門評価分科会

役名	氏名	大学名
主査	神谷久男	北里大学
委員	小林一	鳥取大学
委員	安田正昭	琉球大学

## 37. 農学系第3専門評価分科会

役名	氏名	大学名
主査	秋葉征夫	東北大学
委員	酒井健夫	日本大学
委員	杉山修一	弘前大学

## 38. 医学系第1専門評価分科会

役名	氏名	大学名
主査	奥田研爾	横浜市立大学
委員	木南英紀	順天堂大学
委員	庄司進一	元筑波大学
委員	二村雄次	名古屋大学

## 39. 医学系第2専門評価分科会

役名	氏名	大学名
主査	神津忠彦	東京女子医科大学
委員	片田範子	兵庫県立大学
委員	加納英雄	札幌医科大学
委員	古川 侃	金沢大学

## 40. 薬学系専門評価分科会

役名	氏名	大学名
主査	須田晃治	明治薬科大学
委員	久保孝夫	昭和薬科大学
委員	福森義信	神戸学院大学

## 41. 芸術学系専門評価分科会

役名	氏名	大学名
主査	比良木高幸	元弘前大学
委員	久世健二	金沢美術工芸大学
委員	吉川登	熊本大学

## 42. 家政学系専門評価分科会

役名	氏名	大学名
主査	江藤義春	中京女子大学
委員	滝田 齊	ノートルダム清心女子大学
委員	谷直樹	大阪市立大学

平成17年度 大学財政評価分科会 名簿

役名	氏名	所属名
主査	北村敬子	中央大学
委員	斎藤勉	学校法人 和洋学園
委員	佐藤登志郎	学校法人 獨協学園
委員	玉越正義	学校法人早稲田大学
委員	玉造竹彦	学校法人 中央大学
委員	彦久保勝良	学校法人 慶應義塾
委員	松本香	公認会計士
委員	山岸永一	学校法人 京都橘学園

平成17年度 大学財政評価分科会国・公立大学部会名簿

役名	氏名	所属名
主査	児玉隆夫	元大阪市立大学
委員	赤岩英夫	千葉大学
委員	磯田文雄	筑波大学
委員	佐野慶子	佐野公認会計士事務所
委員	清水一男	横浜市立大学
委員	松本香	松本香事務所

平成17年度 大学財政評価分科会・私立大学部会名簿

第1部会

役名	氏名	所属名
主査	谷口 學	学校法人獨協学園
委員	市川 忠 廣	学校法人日本大学
委員	横井 輝 行	学校法人北里学園

第2部会

役名	氏名	所属名
主査	玉越正義	学校法人早稲田大学
委員	河野喜明	学校法人工学院大学
委員	徳田 守	学校法人金沢工業大学

第3部会

役名	氏名	所属名
主査	彦久保勝良	学校法人慶應義塾
委員	石渡朝男	学校法人芝浦工業大学
委員	高橋英幸	学校法人立命館

第4部会

役名	氏名	所属名
主査	玉造竹彦	中央大学
委員	濱口顯一	学校法人関西学院
委員	山下祐司	学校法人成城学園

第5部会

役名	氏名	所属名
主査	斎藤勉	学校法人和洋学園
委員	神林新	学校法人東洋大学
委員	中村博夫	学校法人関西大学

第6部会

役名	氏名	所属名
主査	山岸永一	学校法人京都橘学園
委員	小林喜男	学校法人明治大学
委員	南雲正敏	学校法人立教学院

平成17年度 異議申立審査会 名簿

役名	氏 名	所 属 名
審査長	鈴 木 守	群 馬 大 学
委員	押 見 輝 男	立 教 大 学
委員	國 岡 昭 夫	元 青 山 学 院 大 学
委員	富 浦 梓	東 京 工 業 大 学
委員	萩 原 信 一	全 国 高 等 学 校 進 路 指 導 協 議 会
委員	八 田 英 二	同 志 社 大 学
委員	元 木 徹	弁 護 士